

碧南ロータリークラブ週報

第2521回例会 平成22年10月20日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp
 ■ 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優



● 齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

高浜RC 笠松栄治君、神谷公一君、神谷義昌君、幸前信雄君、鈴木康博君、高桑雄司君、
 中村さと子君、杉浦修機君

安城RC 横山真喜男君

半田RC 富 武司君、神戸信寅君

会 長 挨 拶

本日は「家族の絆」の話を。

2才7カ月の百合音(ゆりね)が、10月より保育園に通うようになりました。最初の2週間は、保育園でのバイバイから、むかえにいくまで泣き通しでした。本当に声はかかれてしまい、かわいそうな限りでこちらも泣きたくなってしまいました。おやつも御飯もたべず、昼寝もせず、そんな抵抗の日々がつづきました。が、ここ2~3日少し様子がかわってきました。勝手に園庭にでて一人で走りまわったかと思うと、机の上の上のって飛びおりたりしているようです。

そんな話を聞いておばあちゃんが、それは「おじいちゃんに似たんですよ」と園長先生に話をしていました。

私は小学校4年生ぐらいまでは、授業もうけずに運動場を走りまわっていたようです。母親が授業参観にくると私の姿がみえないので、先生に「うちの子は」とたずねると、「お宅のお子さんは、運動場で遊んでいますよ」という返事をいつも聞かされていたようです。今なら「〇〇病」とか病名がつけられてしまっているかもしれませんね。

親の愛情は、子どもが思う以上に深いものです。とくに母親は子どもに限りない愛をそそぐものです。

万葉集のなかでも、坂上郎女(さかのうえのいらつめ)がこのように歌っております。三首ほどありますが、

朝髪の 思ひ乱れて かくばかり (あさかみの おもひみだれて かくばかり)

汝姉が恋ふれぞ 夢に見えける (ねねがこふれぞ いめにみえける)

寝起きの髪の毛が乱れているように、あなたがお母さんのことを慕って思っただけいるから



奥田雪雄会長

でしょう。あなたが夢にでてきましたよ。

うち渡す 竹田の原に 鳴く鶴の (うちわたす たけたのはらに なくたづの)
間なく時なし 我が恋ふらくは (まなくときなし わがこふらくは)

広い竹田の原で鶴がしきりに鳴いているように、あなたをひっきりなしに恋い思っています。

早川の 瀬に居る鳥の よしをなみ (はやかはの せにいるとりの よしをなみ)

思ひてありし 我が子はもあはれ (おもひてありし わがこはもあはれ)

流れの速い川にいる鳥が流されそうになるように、我が娘は頼りなげにしていた。その様子がなんともいじらしい。

幼児は、母親から引き離されると、たいてい泣き叫ぶものですが、親も心が痛みます。それ以上に聞き分けのよい子がガマンしている様子を見ると、いじらしさになおさら親の方が泣きたくなるものです。

子どもの世界はとても小さくて、その世界は母親のつくりだす世界であるといっても過言ではありません。その最も信頼する母親に「ついてきてはダメ」といわれれば、それは子どもにとっては絶対的なものです。母親は「神さま」なのです。母親が知らない世界に消えることと、自分も一緒に行きたい気持ちと、母親に「ついてきてはダメ」と命令されることが同時に起こるわけですから、子どもの心はパニックをおこし、泣き叫ぶわけです。

春先の幼稚園の間ではよくみかける光景ですが、我が家ではこの10月からです。

幹 事 報 告

・本日の幹事報告はありません。



新美宗和幹事

委 員 会 報 告

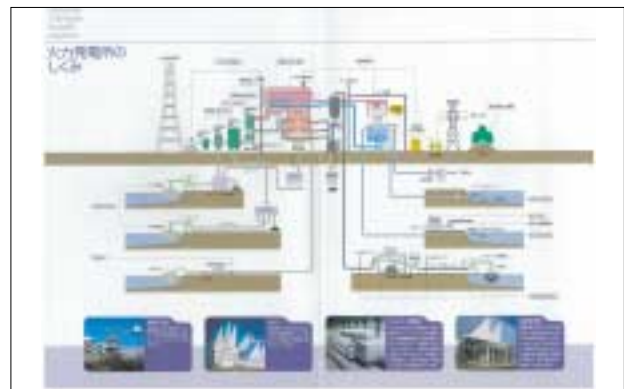
〈出席奨励委員会〉

総会員数73名(内出席免除者15名の内出席者7名)出席者53名	
出席対象者 53/64名	出席率 82.81%
欠席者20名(病欠者1名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

職 場 例 会

「碧南火力発電所」





平成22年11月3日（水）は法定休日のため休会
平成22年11月10日（水）クラブフォーラム
「新地区補助金について」
地区補助金委員会 委員長 松尾憲二郎氏